

2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月1日

上場会社名 エスビー食品株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2805 URL <https://www.sbfoods.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 池村 和也
 問合せ先責任者 (役職名) 管理サポートグループ経理管理室 (氏名) 佐藤 範行 TEL 03-3668-0551
 半期報告書提出予定日 2024年11月11日 配当支払開始予定日 2024年12月2日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	61,491	△2.6	5,001	52.6	4,999	42.2	3,659	51.8
2024年3月期中間期	63,157	2.8	3,277	0.3	3,515	2.6	2,410	△6.9

(注) 包括利益 2025年3月期中間期 2,821百万円(△38.6%) 2024年3月期中間期 4,594百万円(82.1%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	302.85	—
2024年3月期中間期	199.48	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	137,626	75,089	54.6
2024年3月期	140,231	72,692	51.8

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 75,089百万円 2024年3月期 72,692百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	31.00	—	35.00	66.00
2025年3月期	—	37.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	37.00	74.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2024年3月期 第2四半期末配当金の内訳 普通配当 29円00銭 記念配当 2円00銭
 2024年3月期 期末配当金の内訳 普通配当 33円00銭 記念配当 2円00銭

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	123,000	△2.7	8,600	10.6	8,700	7.7	6,800	1.2	562.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期中間期	13,622,234株	2024年3月期	13,622,234株
② 期末自己株式数	2025年3月期中間期	1,538,090株	2024年3月期	1,537,879株
③ 期中平均株式数（中間期）	2025年3月期中間期	12,084,249株	2024年3月期中間期	12,084,563株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、発表日現在において入手可能な情報及び合理的と判断される前提に基づくものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後様々な要因によって異なる場合があります。上記業績予想に関する事項につきましては、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

	頁
1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等の注記)	9
3. 補足情報	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善が進むなど、緩やかな回復基調で推移したものの、不安定な国際情勢や金融資本市場の変動等の影響などから、先行きは依然として不透明な状況で推移いたしました。

食品業界におきましては、原材料価格の上昇やエネルギー価格の高止まりに加え、為替の変動などによる、さらなる物価上昇懸念等の先行きへの不安から、お客様の節約志向が継続するなど、引き続き厳しい経営環境となりました。

このような状況のなかで、当社及び連結子会社（以下、「当社グループ」といいます。）は、企業理念・ビジョンのもと、2023年4月より開始いたしました第3次中期経営計画に基づき、「地の恵み スパイス&ハーブ」を核とした事業活動を推進するとともに、持続可能な企業と社会の実現を目指し、社会課題の解決に向けた活動にも全社一体となって取り組んでまいりました。

当中間連結会計期間では、中期経営計画に掲げるパウダールウ製品をはじめとする高付加価値製品の販売強化や海外事業の強化などに努めてまいりました。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は、食料品事業において、スパイス&ハーブグループや香辛調味料グループなどが順調に推移いたしましたが、2024年3月に調理済食品事業を譲渡いたしました影響から、前年同期比16億65百万円減の614億91百万円（前年同期比2.6%減）となりました。利益面では、原材料価格の上昇が続いておりますものの、国内及び海外ともに売上高が増加いたしましたことに加え、前期に実施いたしました価格改定の影響もありましたことから、営業利益は前年同期比17億23百万円増の50億1百万円（同52.6%増）、経常利益は前年同期比14億83百万円増の49億99百万円（同42.2%増）、親会社株主に帰属する中間純利益は前年同期比12億49百万円増の36億59百万円（同51.8%増）となりました。

製品区分別の経営成績は、以下の通りであります。なお、製品区分別の連結売上高の詳細につきましては、10ページ「3. 補足情報」をご参照ください。

<スパイス&ハーブ>

「SPICE & HERB」シリーズをはじめとする洋風スパイスが伸長いたしますとともに、唐辛子やカレー粉も順調に推移いたしました。

<即席>

主力ブランドの「ゴールデンカレー」が国内及び海外において伸長いたしますとともに、「ドライキーマカレー」などのパウダールウ製品も順調に推移いたしました。

<香辛調味料>

お徳用タイプ等のチューブ製品が伸長いたしますとともに、「李錦記」ブランド製品も順調に推移いたしました。

<インスタント食品その他>

パスタソースが減少したものの、家庭用製品を中心にレトルトカレーが順調に推移いたしました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末と比較して26億5百万円減少し、1,376億26百万円となりました。

負債は、前連結会計年度末と比較して50億2百万円減少し、625億36百万円となりました。これは主に、借入金の減少24億29百万円、未払金の減少8億61百万円などがあったことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して23億97百万円増加し、750億89百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加32億36百万円などがあったことによるものであります。この結果、自己資本比率は54.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績につきましては、相場や為替の変動に伴う原材料価格の上昇が見込まれますものの、当中間連結会計期間の業績が当初の想定を上回ったことを勘案し、2024年5月10日に公表いたしました2025年3月期通期の連結業績予想を修正しております。

2025年3月期通期連結業績予想数値の修正(2024年4月1日～2025年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	121,500	8,000	8,100	6,200	513.06
今回修正予想(B)	123,000	8,600	8,700	6,800	562.72
増減額(B-A)	1,500	600	600	600	—
増減率(%)	1.2	7.5	7.4	9.7	—
(ご参考) 前期実績 (2024年3月期)	126,443	7,778	8,079	6,717	555.89

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,082	21,157
受取手形、売掛金及び契約資産	34,406	31,880
商品及び製品	9,880	10,302
仕掛品	4,218	4,534
原材料及び貯蔵品	13,436	14,602
その他	1,051	1,116
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	85,076	83,594
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	16,711	16,413
機械装置及び運搬具(純額)	8,503	7,991
土地	7,897	7,897
その他(純額)	2,231	2,746
有形固定資産合計	35,344	35,048
無形固定資産	601	594
投資その他の資産		
投資有価証券	15,050	13,941
その他	4,179	4,468
貸倒引当金	△20	△20
投資その他の資産合計	19,209	18,389
固定資産合計	55,155	54,032
資産合計	140,231	137,626

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,186	14,122
短期借入金	16,548	14,646
未払金	11,853	10,991
未払法人税等	1,865	1,465
賞与引当金	1,482	1,517
資産除去債務	—	1
その他	2,820	1,606
流動負債合計	48,756	44,351
固定負債		
社債	1,000	1,000
長期借入金	10,034	9,506
退職給付に係る負債	6,143	6,149
資産除去債務	115	115
その他	1,488	1,414
固定負債合計	18,782	18,184
負債合計	67,538	62,536
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,744	1,744
資本剰余金	5,336	5,336
利益剰余金	61,631	64,868
自己株式	△3,961	△3,962
株主資本合計	64,751	67,986
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,027	6,272
土地再評価差額金	857	857
為替換算調整勘定	393	290
退職給付に係る調整累計額	△337	△317
その他の包括利益累計額合計	7,941	7,102
純資産合計	72,692	75,089
負債純資産合計	140,231	137,626

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	63,157	61,491
売上原価	48,057	44,655
売上総利益	15,100	16,836
販売費及び一般管理費	11,822	11,835
営業利益	3,277	5,001
営業外収益		
受取利息	0	12
受取配当金	144	186
不動産賃貸料	22	19
為替差益	197	—
その他	112	102
営業外収益合計	476	320
営業外費用		
支払利息	214	184
為替差損	—	131
その他	23	6
営業外費用合計	238	322
経常利益	3,515	4,999
特別利益		
受取補償金	67	16
関係会社清算益	—	148
その他	61	17
特別利益合計	128	183
特別損失		
固定資産除却損	34	19
火災損失	242	—
退職給付制度改定損	—	34
その他	19	15
特別損失合計	297	69
税金等調整前中間純利益	3,347	5,112
法人税、住民税及び事業税	933	1,378
法人税等調整額	3	74
法人税等合計	936	1,453
中間純利益	2,410	3,659
非支配株主に帰属する中間純利益	—	—
親会社株主に帰属する中間純利益	2,410	3,659

(中間連結包括利益計算書)

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	2,410	3,659
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,995	△754
為替換算調整勘定	168	△103
退職給付に係る調整額	19	19
その他の包括利益合計	2,183	△838
中間包括利益	4,594	2,821
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	4,594	2,821
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	3,347	5,112
減価償却費	2,139	1,793
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	0
賞与引当金の増減額(△は減少)	△12	34
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△17	13
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	89	△11
受取利息及び受取配当金	△144	△198
支払利息	214	184
固定資産除却損	34	19
火災損失	242	—
退職給付制度改定損	—	34
受取保険金	△30	△7
受取補償金	△67	△16
補助金収入	△30	△7
関係会社清算益	—	△148
売上債権の増減額(△は増加)	△8,292	2,526
棚卸資産の増減額(△は増加)	△1,140	△1,905
その他の資産の増減額(△は増加)	662	△144
仕入債務の増減額(△は減少)	350	△63
その他の負債の増減額(△は減少)	720	△2,035
その他	△102	70
小計	△2,036	5,250
利息及び配当金の受取額	144	193
利息の支払額	△218	△188
保険金の受取額	30	7
補償金の受取額	67	16
火災損失の支払額	△29	—
法人税等の支払額	△402	△1,814
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,445	3,464
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△20	△23
定期預金の払戻による収入	20	20
有形固定資産の取得による支出	△932	△1,412
有形固定資産の売却による収入	1	28
無形固定資産の取得による支出	△76	△104
投資有価証券の取得による支出	△0	△101
関係会社の清算による収入	—	321
補助金の受取額	30	7
その他	△1	19
投資活動によるキャッシュ・フロー	△979	△1,243
財務活動によるキャッシュ・フロー		
社債の発行による収入	1,000	—
短期借入金の純増減額(△は減少)	4,224	△1,334
長期借入れによる収入	1,790	890
長期借入金の返済による支出	△4,053	△1,985
配当金の支払額	△326	△422
その他	△120	△129
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,513	△2,982
現金及び現金同等物に係る換算差額	217	△166
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△694	△928
現金及び現金同等物の期首残高	20,755	22,050
現金及び現金同等物の中間期末残高	20,061	21,122

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

1. 前中間連結会計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)

「2. 当中間連結会計期間 (報告セグメントの変更等に関する事項)」に記載の通りであります。

2. 当中間連結会計期間 (自2024年4月1日 至2024年9月30日)

当社グループの報告セグメントは「食料品事業」のみであるため、記載を省略しております。

(報告セグメントの変更等に関する事項)

当社グループの報告セグメントは、従来「食料品事業」と「調理済食品」の2つに区分して報告していましたが、2024年3月に連結子会社である株式会社ヒガシヤデリカの調理済食品事業を譲渡したことにより、「調理済食品」の重要性が乏しくなったため、当中間連結会計期間より報告セグメントを「食料品事業」のみに変更しております。

この変更により、前中間連結会計期間及び当中間連結会計期間のセグメント情報の記載を省略しております。

3. 補足情報

セグメント及び製品区分別連結売上高

当中間連結会計期間におけるセグメント及び製品区分別の連結売上高は以下の通りであります。

(単位：百万円)

セグメント及び製品区分	前中間連結 会計期間	当中間連結 会計期間	増減額	増減の主な要因
食料品事業	56,762	61,491	4,729	
スパイス&ハーブ	16,107	17,557	1,450	洋風スパイス (増加)
即席	19,604	20,776	1,171	即席カレー (増加)
香辛調味料	22,736	24,543	1,807	チューブ製品 (増加)
インスタント食品その他	15,910	16,433	523	レトルトカレー (増加)
売上控除	△17,596	△17,819	△222	売上増加に伴う売上控除の 増加 (減少)
調理済食品	6,394	—	△6,394	事業譲渡による減少
計	63,157	61,491	△1,665	